

ジュニア科学クラブ 8



夏休みの天体観察

いまは夏休みのまっただ中！今年の夏休みには、晴れた夜に天体観察をしてみませんか。星座をさがしたり、月や惑星^{わくせい}をみつけたりできるようになると、とても楽しいですよ。そこで今月は、天体観察のコツなどをお話します(会員の保護者^{ほごしや}の方もいっしょに読んでください)。

いま、どんな星が見えるか知りたい！

観察をする時に、どんな星空が見えるかを知りたい時は、星座早見があれば、すぐに知ることができて便利です。でも、月や惑星は、星座早見には書かれていません。そこで、この『うちゅう』2～3ページにある「星空ガイド」や、ジュニア科学クラブのみなさんにお配りしている『こよみハンドブック』には、くわしいことが書かれていますので、チェックしてください(写真1)。



写真1: 星空の様子を知る時に便利な星座早見(中央)や本。

そのほかにも、本やインターネットで調べることもできますし、見えている星空をリアルタイムで表示するスマートフォンのアプリも便利です。

天体観察をするのは、どんな場所がいいの？

観察したい星が見えるのであれば、家のベランダでも大丈夫です。でも、近所の公園やグラウンドといった場所にでかけると、楽しみ方も増えます。よりよく観察するための場所選びのコツは…、

ここから2ページはジュニア科学クラブ(小学校5・6年生を対象とした会員制)のページです。

①近くに建物や木などがなく、空が広く見える場所に行くと、一度にたくさんの星たちが見えて、いろんな楽しみ方ができます(写真2)。

②星の光は弱いので、明るいライトや光を出す看板などから、少しはなれた場所で観察すると、星をよく見ることができます。

家のベランダなら、部屋のカーテンをちょっとしめて、ベランダを少し暗くする方法もあります。



写真2:公園で見た星空。建物や明るいライトからはなれてみると良い。

天体観察に便利なオススメ道具

観察する時には、星座早見などの道具や、見えたものを記録するノートとペン、暗い場所を照らす懐中電灯があると便利です。また、観察する場所によっては虫よけスプレーが役に立ちます。

大きな望遠鏡や、暗い星までよく見たい時は、どうしよう？

大きな望遠鏡で月や惑星を見たいな、と思ったら、近くの科学館や公開天文台でおこなっている天体観望会にでかけませんか？『こよみハンドブック』の138～141ページには、科学館などのリストがありますので、インターネットなどで天体観望会やイベントの日を調べてみましょう。

天体観察する時に守ること！

夜は暗くて、外はあぶないことがたくさんあります。天体観察をする時は、安全にはくれぐれも注意しましょう。家の外に行く時はもちろん、ベランダなどで見る時でも、必ず保護者となるおとなの人といっしょに行動してください。ケガや事故のないように、安全で楽しい星空観察をしましょう！

かず つぐと(科学館学芸員)